平成２９年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【　　宮城県　　】

１実践テーマ	【若い力で「おもてなし」 ～高校生による宮城観光のＰＲ活動と観光ガイド～】
２実施対象者	宮城県松島高等学校観光科２年生78名・3年生78名
３展開の形式	（１）学校における活動 ①教科名（２年 Dream Skyward　３年 Global Good） ※観光科の学校設定科目 ②行事名（台湾高等学校修学旅行ボランティアガイド） ③その他（　　） （２）地域における活動 ①イベント名（　　） ②その他　　（台湾高校修学旅行招聘事業視察団ガイド）
４　目　標 （ねらい）	本校がある松島には台湾を中心に中国系の修学旅行等の団体が多く訪れる。これまでは互いに学んでいる英語を介してコミュニケーションをとっていたが，中国語でガイドすることで「おもてなし」の質を高めることができ，かつ，本校生の語学力向上と異文化理解にも繋がり，より高いコミュニケーション力が身に付く。また宮城の観光ＰＲを広めていくことにも寄与することができる。
５　取組内容	６月27日（火） 和室作法講座　２年観光科 和室での作法について学んだ。 10月６日（金） 第１回　中国語講座 ２年観光科　３年観光科 中国語講師による発音練習から挨拶・自己紹介の仕方を学んだ。 10月11日（水） 第２回　中国語講座 ２年観光科　３年観光科 前回の復習と松島海岸のガイドに必要な中国語を学んだ。 10月18日（水） 台湾高校修学旅行招聘事業として，台湾高級中学の校長視察団のガイドを実施した。

	10月21日（土） 　仙台在住の台湾留学生に対して松島海岸ガイドを実践した。 　留学生13名の協力を得て実施，終了後は振り返りとして，留学生から感想等の発表と講師からのアドバイスを受けた。 12月6日（水） 　前回の実践講習での課題解決と中国系観光客の興味関心について探求した。 12月13日（水） 　台湾国立西螺高級農工職業學校修学旅行の観光ガイドを実施した。
6　主な成果	初めて中国語を学ぶ生徒がほとんどで，興味関心が高く，深い学びができたと感じる。講習直後には，実際に台湾の修学旅行生を案内する機会もあり，実践に結びつけられた。また和室作法講習では自宅に和室がない家庭もあり，日本文化を肌で感じる機会が少なくなってきている中で，日本の文化を学び直す機会になり，大変有意義であり，観光科のこれからの活動に大きな効果をもたらすものであると考える。
7実践において工夫した点（事業の特色）	語学は一斉授業だけで身に付くものではなく，日常的な学習の中からより深い学びができるものであることから，実践を通して計画的に行った。 　台湾の中国語講師により，中国語の基礎基本から日常会話やガイドに関して，実技を含めて講座を展開し，実際に台湾留学生を招き入れて，中国語による観光ガイド実習を行い，留学生から中国語に関してだけでなく，案内の仕方や説明して欲しい事柄など的確な指導を受けられた。 　その後に，台湾修学旅行に対する実践的なガイドも行い，中国語に対する興味関心が高まった。
8主な課題等	語学は継続した学習が必要であることから，1年単位の事業とならないように3か年にわたる計画的な指導を実施できるようにしたい。また，日本文化の再確認に関しても，古来からの文化を学ぶ機会を増やすことで，インバウンドに繋げていきたいと考えている。
9来年度以降の実施予定	これまで，外国語は英語だけの学習であったが，中国語の講座を実施したことで，英語圏だけでなく他の国々に対する興味関心が湧き，異文化を身近に感じる機会ができた。 　今後も中国語講座をより発展させた形で継続していきたいと感じている。また，中国系のみならず様々な国の方々とのコミュニケーションがとれるような事業を展開していきたい。 　次年度もこの「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の実施を希望している。